



発行：新潟北高等学校

24013028



明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願いいたします。

今年の干支である「辰」のもともとの意味は、『漢書』律曆志によると「振」（しん:「ふるう」「ととのう」の意味）で、草木の形が整った状態を表しているそうです。本校の教育活動が少しでも活性化し、より整った状態・・・すなわち新潟北高校が「辰」となるよう今年も努めて参ります。そのために一昨年度から実施しているオンリーワンスクール推進事業を継続して推し進めていきたいと考えております。

さて、1月10日（火）。本校では冬休み明けの初日。来たる13日に実施する県立幼稚園との交流体験実習（もちつき）に向け、事前指導を実施。今回は、2年生の有志8名が参加。当日の流れ、注意事項を説明の後、新潟北高校のネーム入りエプロン、三角巾を配付。一人ひとりが、自らの役割を自覚し主体的に交流体験実習に関わることを確認して事前指導を終了した。そうそう当日に園児と一緒に踊る「マルマル・モリモリ」のダンスについては、昨年12月中にDVDを配付。冬休み中に修得済み(^_^)v?となっている。

もちつき交流体験実習～H24.1.13



「せーの、よいしょ！！」「よいしょ！！」おいしい「**おもち**」にな～れ！！

もちつき交流体験実習当日

当日1月13日(金)。朝の集合時間の前に生徒全員が集合。いざ、県立幼稚園に出陣！！幼稚園に到着すると、玄関で「おはようございます」と元気に挨拶。控室に荷物を置き、早速準備に取り掛かる。男子生徒は食卓、配膳用のテーブル・椅子の運搬、「もちつき」会場の配置確認。女子生徒は、食器、鍋、お玉・・・お汁粉関係の下準備。判断に迷う部分は、職員に確認しながら準備を進めていく。そうこうしているうちに、お餅屋さんが、「おもち」と「あんこ」を携えて来園。同時進行で、園児達が次々と登園してくる。



<顔合わせ交流>

参加者が一同に会して、顔合わせ交流開始。副園長先生の進行により、参加生徒が園児の前に一列に整列。生徒を代表して、男子1名、女子1名が、今日の交流に参加する決意表明を含めて挨拶。その後、園児達と一緒に歌2曲、「アイアイ」と「幸せなら手をたたこう」を歌い集会終了。

園児達は、いったん保育室へ戻る。

<もちつき>

園児が退場した後、朝確認したとおり生徒達がもちつき会場へと、手早く配置換え。臼、杵、蒸した餅米の準備が整い、お餅屋さんの協力を得て、いよいよ「もちつき」の開始。まずは、園長先生が、「もちつき」の手本を示すと、「よーいしょ！」「よーいしょ」と周りの園児達から掛け声が掛かり、臼からは白い湯気が上がる。

続いて、男子生徒2人が向き合って、交互にもちつきの手本を示す。その後はいよいよ年長の「ほし組」さんによるもちつき。ほし組さんは、豆絞りの手拭いを幼稚園の先生や女子生徒から付けてもらい、2人ずつ臼を挟んで向かい合う。ほし組さんは、子ども用の杵を握り、高校生の補助でもちつきを体験。周りの園児達から「よーいしょ！」「よーいしょ」の掛け声をもらいながら、5回ずつ杵を振り下ろすと交代し、ほし組さん全員がもちをつき、無事に終了した。

園児達は、いったん保育室に戻る。



<いただきます>

園児が退場した後、生徒達は、食事会場へと手早く配置換え。もちつきと同時進行で女子生徒達はお汁粉とお餅の配膳準備。

年少さんは各自の保育室で食事。年中のさくら組さん、年長のほし組さんがテーブルに着いたところへ、お汁粉とお餅を配膳。生徒は、一人ずつ園児のテーブルに仲間入りする。準備が整い、園長先生の発声に合わせ全員で「いただきます」。テーブル毎に、和やかな会話とともに箸が進み、おかわりする姿も多く見られた。



もちつき交流体験実習当日（つづき）

<マルマル・モリモリのダンス>

お餅とお汁粉でお腹を満たした園児が退場後、生徒たちは食事の後片付け。テーブルと椅子を運び出す。いよいよお楽しみの「マルマル・モリモリ」のダンス。園児達は、幼稚園でも踊っているとのこと。このダンスはご存じの通り2人組で踊る。園の計らいで、生徒一人ひとりに、ほし組さんが一人ずつ付き、2人一組となる。何と園長先生や、引率の



本校職員まで園児と2人一組になり、遊戯室に二重円の隊形となる。内側の円は年中さん、外側の円は年長さんと高校生・本校職員が並ぶ。準備が整うと、ほし組さんの担任の合図で、「マルマル・モリモリ」のダンスの始まり。CDから流れる音楽に合わせて一同で元気いっぱい踊る。生徒達は、DVDでの練習の成果？が現れ、園児達と呼吸を合わせて楽しんでいた。

「ねー高校生のお兄さん、一緒に踊りましょう」「はい、お願いします」



<お別れの会>

楽しい時間は過ぎるのも早い。ダンスの後は、遊戯室で整列し、お別れの会。生徒は園児の前に一列に並ぶ。副園長先生の進行により、本校生徒3名が感想発表。今日の交流を振り返り、園児と関わりを持つ中で感じたことや、園児達への感謝の気持ちを述べた。

続いて、園児のからの感想発表。「今日は、高校生のお兄さん、お姉さんといしょに、マル・モリダンスを踊れて楽しかったです」とか、「今日は、餅つきして、おいしいお餅を食べられてうれしかったです」など、素直な感想をいただき、本校生徒達の表情が明るくなった。

お別れの会が終わると、園児の退場。出口付近に移動した高校生は、ハイタッチのあいさつで交流を深めていた。生き生きとした表情を見せながら交流体験実習に取り組む生徒達に頼もしさを感じるとともに、この機会を提供してくれた幼稚園・園児達に感謝します。

この広報は、新潟北高等学校ホームページhttp://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top_gakkou.htmlにも掲載しています。